

高感度小型多波長赤外線センサ開発およびフィールド実証

事業の目的・概要

- 小型衛星およびドローンにも搭載可能な赤外線センサとその構成要素技術を、他国に依存することなく自律的に製造する能力を強化する。
- 小型で高感度な多波長赤外線センサを開発し、波長分解能、空間分解能だけでなく時間分解能も向上した世界最高水準の多波長データの収集・分析の実証をする。

実施体制

※太字：幹事企業

株式会社ジェネシア、株式会社アイネット、一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構、住友電気工業株式会社、浜松ホトニクス株式会社、株式会社WorldLink & Company

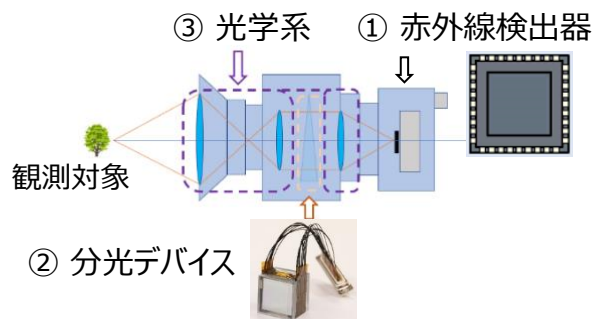
事業期間（予定）

2022年度～2027年度（6年間）

事業規模など

- 事業規模：50億円
- 契約形態：委託事業

事業イメージ（研究内容）

赤外線検出器、分光デバイス
および光学系の開発

多波長赤外線センサの開発

- ① 冷却システム（IDCA*）の開発
- ② 多波長赤外線センサシステムの開発



* Integrated Detector Cooler Assembly

多波長赤外線センサの実証

- ① 多波長画像取得用センシングドローンの開発
- ② 多波長画像取得用小型衛星の開発と軌道投入、運用
- ③ 解析・データプラットフォームの開発とフィールド実証

